



開催期間

令和5年 6月1日(木)
令和6年 3月31日

町職員との交流はいかが？

町職員が皆さんのところに伺ってご希望のテーマに沿って事業説明などを行い、直接、町職員と意見交換する「交流トーク」を上記の期間で実施します。

交流トークのテーマ一覧と担当

Table with 2 columns: Topic (e.g., 区、自治会の法人化, 情報公開制度) and Staff (e.g., 総務課, 健康福祉課)

開催は 10名から

開催時間などはご相談ください

交流トーク 企画情報課 TEL 391-1105 FAX 391-1188



全国入選3席 全国4位

実は評価が高い「広報こもの」

自治体の広報紙を審査する令和4年三重県広報コンクールで「広報こもの令和4年9月号」が広報紙部門(町の部)で、組み写真の部で「広報こもの令和5年11月号P.2~3」がそれぞれ特選(三重県1位)に選ばれました。



審査員の評価(一部抜粋)

- 写真がよく、レイアウトも洗練されており、三重県内の町の部では頭一つ以上抜けている。
表紙と特集のデザインに特徴があり、毎月違ったイメージを見せていて、委託なしでこのクオリティはよくできている。

皆さんの読んでいる広報紙
町の皆さん800人に行った令和4年度町民アンケートでは、85%を超える皆さんが「広報こものを見ています」と回答しました。

写真の温かみや企画内容があると考え、これからも時代に合わせたかたちで発行を続けていく予定です。
今後も広報こものを通じて、自分たちのまちや住んでいる人々の魅力を伝えたい。そして、住民にとって広報こものがこのまちに住んでいる小さな特典のように思ってもらえるようになるまで、工夫を凝らした紙面展開を考えたいと思います。



町民皆さんの感想

読者の声(一部抜粋)

20歳代 菟野地区

とても読みやすくてよいが、もっと町民の活動などが知りたい。

50歳代 菟野地区

見出しが分散しているので、どこにどの記事があるのか把握しづらい。

50歳代 鷺川原地区

身近なテーマが少ないので楽しみにするような企画を考えてほしい。

40歳代 鷺川原地区

毎月楽しく拝見させてもらっている。年配から若者まで幅広く関心がある内容を記事にしてほしい。

20歳代 菟野地区

配布物が多すぎると思う。月一回の発行でもよく、紙の節約にもなると思う。

50歳代 朝上地区

町役場の特集をしてほしい。各課の紹介や補助金の情報など、お金に関する情報は掲載してほしい。

私も広報担当

菟野町芸術文化協会 写真部会

会長 曾根 貢さん



私自身、平成13年から広報こもの写真提供に携わるようになり、これまで多くの写真を掲載してもらいました。

さまざまなアングルの写真が欲しいとき、広報担当者とは違う方向から写真を撮影してくれています。

ボランティアグループ 響きの会

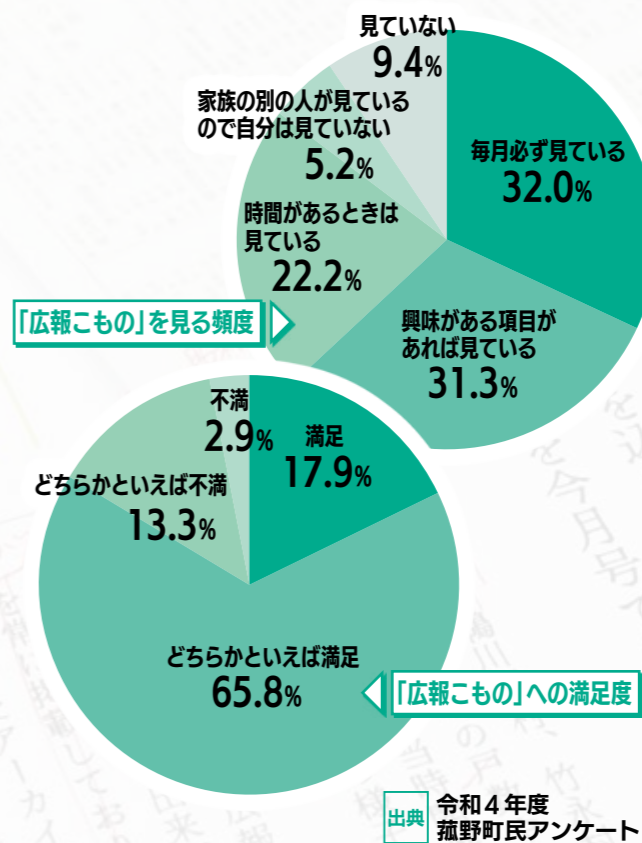
会長 小野義一さん



約20人の会員で町内で発行される7種類の発行物を読み上げています。

目に障がいがある方へ広報紙を音読した「声の広報」を収録し、届けています。

和2年7月号から広報こものではほぼ毎月、巻頭に特集記事を設けています。特集記事が広報こものを読むきっかけになればと考えて、さまざまな題材を取り上げていきます。



出典 令和4年度 菟野町民アンケート

毎号の特集に懸けるこだわり

特集 LINE UP



「スポーツ」に関する特集

令和3年9月号 「菟野の地で頂へ」
令和2年10月号 「ディスクゴルフ」



「安全安心」に関する特集

令和2年12月号 「PROTECT MY TOWN」
令和元年7月号 「突然の豪雨」



「観光PR」に関する特集

令和4年7月号 「CAMP Non-daily life」
令和3年1月号 「PICK UP 南伊勢町」